

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

目 次

	(頁)
I 概 況	
【組織運営の実績】	1
【事業の実績】	5
【1】（重点目標1） 障害者支援施設秋田ワークセンターの運営・管理	5
秋田ワークセンター相談支援事業所の運営・管理	5
コミュニティライフサポート谷内佐渡ホームの運営・管理	5
【2】（重点目標2） 障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進	5
【3】（重点目標3） 市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化	8
【4】（重点目標4） 人材育成のための研修事業の実施	11
【5】（重点目標5） 3障害（身体・知的・精神）を統合した事業の推進	13
II 事業別の概要	
【1】 障害者支援施設秋田ワークセンター事業の実績	15
【2】 秋田ワークセンター相談支援事業の実績	28
【3】 コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム事業の実績	30

令和4年度 事業報告書

I 概況

社会福祉法人として地域福祉の推進に寄与するため、障害者支援施設等の社会福祉事業や県からの委託事業を効果的かつ適正に執行するため、正副会長会議や評議員会、理事会、評議員選任・解任委員会などの諸会議を新型コロナウイルス等感染症予防対策を講じたうえで、適時適切に開催した。

事業の実施では、県からの委託事業を実施するにあたり、県民の福祉ニーズに適切に対応するため、感染症の拡大に十分留意しながら、行政や関係団体等と連携を図り、最小の経費で最大の成果を挙げよう取り組んだ結果、各事業ともに概ね所期の目的を達成することができた。

県からの委託事業として実施している「小中学生向け障害理解教室」は、障害のある方々が講師として37校（昨年度25校）の小中学校に出向き、車いす乗車体験や盲導犬とのふれあい体験や見えない世界を肌で感じる体験、点字等を学ぶことによって、2,057名の児童・生徒（前年度1,760名）に対して障害の特性や障害者への理解を一層深める機会を提供することができた。

「サービス管理責任者等研修」は、受講者や講師等関係者の感染症予防対策として対面での集合研修とオンラインによる遠隔研修を組合せるなどの措置を講じながら、全てのカリキュラムを予定どおり実施することができた。

「第22回いきいき芸術・文化祭開催事業」は、秋田市にぎわい交流館A Uあう（秋田市）を会場に、感染症予防対策のため参加者の安全面を考慮し規模を縮小して実施したが、延べ42（昨年度延べ24）の障害福祉事業所の参加を得て手工芸品や加工食品などを販売する製品販売を実施したほか、新たに「知的・発達障がい疑似体験」や「eスポーツ体験会」「VR発達障害体験」「無料映画上映会」「講演会」（OriHimeパイロットの活躍とその果たす役割について）更には「友活交流会」などを開催した結果、大勢の皆様に来場いただきイベントを楽しんでもらうことができた。また、秋田県障害者芸術福祉展においては、展示作品のバーチャルツアー形式によるインターネット公開（3年目）により、福祉展終了後にいつでも作品を鑑賞することができるようにするなど、障害のある方々の芸術作品の素晴らしさを広く県民に周知することができた。

【組織運営の実績】

1 評議員会

(1) 第1回（書面決議）

- ・決議日 6月24日（金）
- ・同意評議員 17名
- ・非同意評議員 0名
- ・議案
議案第1号 理事の補充選任（案）について
議案第2号 令和3年度事業報告書について
議案第3号 令和3年度収支決算書について
議案第4号 社会福祉充実計画について

(2) 第2回

- ・期日 令和5年3月27日（月）

- ・場 所 秋田県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 評議員11名、理事5名、監事1名
- ・欠席者 評議員5名
- ・議 案
 - 議案第1号 令和4年度資金収支第1次補正予算書（案）について
 - 議案第2号 令和5年度事業計画書（案）について
 - 議案第3号 令和5年度資金収支予算書（案）について
- ・報告事項
 - 報告事項1 会員に関する規程改正について
 - 報告事項2 職員給与規程改正について
 - 報告事項3 秋田ワークセンター苦情解決規程改正について
 - 報告事項4 「市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画」の変更について
 - 報告事項5 湯沢市身体障がい者福祉協会の退会について

2 理事会

(1) 第1回

- ・期 日 6月10日（金）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 理事6名、監事2名
- ・欠席者 理事1名
- ・議 案
 - 議案第1号 評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者について
 - 議案第2号 評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について
 - 議案第3号 顧問選任の同意について
 - 議案第4号 職員就業規則等一部改正（案）について
 - 議案第5号 令和3年度事業報告書について
 - 議案第6号 令和3年度収支決算書について
 - 議案第7号 社会福祉充実計画について
 - 議案第8号 令和4年度第1回評議員会の招集について
 - 議案第9号 市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画の変更について
 - 議案第10号 理事会所掌案件となっている関係要綱・規程等を会長決裁案件へ移行することについて
- ・報告事項
 - 報告事項1 理事の補充選任について
 - 報告事項2 職務執行状況報告について
 - 報告事項3 令和4年度資金運用状況について
 - 報告事項4 秋田ワークセンター就労継続支援A型事業の休止について

(2) 第2回

- ・期 日 令和5年3月16日（木）

- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 理事7名、監事2名
- ・欠席者 理事2名
- ・議 案
 - 議案第1号 会員に関する規程改正（案）について
 - 議案第2号 職員給与規程改正（案）について
 - 議案第3号 秋田ワークセンター苦情解決規程改正（案）について
 - 議案第4号 令和4年度資金収支第1次補正予算書（案）について
 - 議案第5号 令和5年度事業計画書（案）について
 - 議案第6号 令和5年度資金収支予算書（案）について
 - 議案第7号 「市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画」の変更について
 - 議案第8号 令和4年度第2回評議員会の招集について
- ・報告事項
 - 報告事項1 職務執行状況について
 - 報告事項2 資金運用状況について
 - 報告事項3 湯沢市身体障がい者福祉協会の退会について

3 正副会長会議

(1) 第1回

- ・期 日 6月3日（金）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 会長、副会長2名、常務理事、所長
- ・協議事項
 - 協議事項1 評議員の選任（案）について
 - 協議事項2 理事の補充選任（案）について
 - 協議事項3 評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について
 - 協議事項4 顧問選任の同意について
 - 協議事項5 職員就業規則等の一部改正（案）について
 - 協議事項6 令和3年度事業報告書について
 - 協議事項7 令和3年度収支決算書について
 - 協議事項8 社会福祉充実計画について
 - 協議事項9 令和4年度第1回理事会及び第1回評議員会の開催について
 - 協議事項10 市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画の変更について
 - 協議事項11 職務執行状況報告について
 - 協議事項12 令和4年度資金運用状況について
 - 協議事項13 理事会所掌案件となっている関係要綱・規程等を会長決裁案件へ移行することについて
 - 協議事項14 令和4年度東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会の開催について
- ・その他

(2) 第2回

- ・期 日 7月13日(水)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 会長、副会長2名、常務理事
- ・協議事項

協議事項1 第40回秋田県身体障害者福祉大会会長表彰等について(表彰審査委員会)

- (1) 会長表彰候補者の選出
- (2) 代表受賞者の選出
- (3) スローガン(案)・大会宣言(案)・大会決議(案)について
- (4) 大会における役割分担について
- (5) その他

(3) 第3回

- ・期 日 令和5年3月10日(金)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 会長、副会長2名、常務理事、所長
- ・協議事項

協議事項1 会員に関する規程改正(案)について

協議事項2 職員給与規程改正(案)について

協議事項3 秋田ワークセンター苦情解決規程改正(案)について

協議事項4 令和4年度資金収支第1次補正予算書(案)について

協議事項5 令和5年度事業計画書(案)について

協議事項6 令和5年度資金収支予算書(案)について

協議事項7 「市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画」の変更について

協議事項8 令和4年度第2回理事会及び第2回評議員会の開催に関する事

協議事項9 職務執行状況報告について

協議事項10 資金運用状況について

協議事項11 湯沢市身体障がい者福祉協会の退会について

4 評議員選任・解任委員会

(1) 第1回

- ・期 日 6月15日(水)
 - ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席者 委員3名、会長、常務理事
 - ・議 案
- 議案第1号 評議員の選任(案)について

5 監 査 令和3年度における理事の業務執行状況及び法人の財産状況等の監査

(1) 秋田ワークセンター

- ・期 日 5月24日(火)

- ・場 所 会議室
- ・出席者 監事2名、常務理事、所長
- ・内 容
 - ①職員紹介
 - ②事業報告書概要説明（施設所管分）
 - ③収支決算書概要説明（施設所管分）
 - ④昨年度監査講評事項への対応状況の報告
 - ⑤監査

(2) 法人事務局

- ・期 日 5月25日（水）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 監事2名、会長、常務理事、所長（講評時）
- ・内 容
 - ①職員紹介
 - ②事業報告書概要説明（法人事務局所管分）
 - ③収支決算書概要説明（法人事務局所管分）
 - ④監査
 - ⑤全体講評
 - ⑥会長あいさつ

[事業の実績]

- 【1】（重点目標1）・障害者支援施設秋田ワークセンターの運営・管理**
 （15頁記載）
- ・秋田ワークセンター相談支援事業所の運営・管理
 （28頁記載）
 - ・コミュニティライフサポート谷内佐渡ホームの運営・管理
 （30頁記載）

【2】（重点目標2）・障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進

1 自立更生の環境づくり

(1) 障害者地域生活支援事業

障害者の自立更生の環境づくりのため、関係団体が自主的な事業に取り組むための助成金を交付するなど、その円滑な事業推進を図った。

①オストメイト社会適応訓練事業

日本オストミー協会秋田県支部が県内5地区において、装具、器具の使用法と選択法やストマクリニックや社会生活上の基本的事項に関する相談、情報交換等を感染症に配慮のうえ実施した。

・実施地区 秋田市、由利本荘市、仙北市、湯沢市、能代市

・参加者数 102人

②音声機能障害者発声訓練事業

喉頭摘出者福祉団体「秋笛会」は、食道発声訓練、各種相談、人工喉頭又は電気発声機による発声訓練等を実施する訓練会や研修会を行う予定であったが、新型コロナウイルスの蔓延により開催を中止

した。但し、第44回定期総会は書面による決議で行った。

③筋ジス者機能訓練事業

秋田県筋ジスの会が、筋ジストロフィー者に対して、社会生活上必要な知識の習得や情報交換等の場として、検診、医療講話や医療相談を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策として、開催を中止した。

④車いす使用者のためのレクリエーション事業

秋田県車いす連合会において、運動会、ゲートボール大会、文化交流会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止した。今後のレクリエーション事業及び地区での交流会等で活用するポッチャ用具一式（2セット）と競技時等に選手が着用するビブス（2色各15枚）を購入した。

(2) 小中学生向け障害理解教室の実施

障害のある方などが講師として県内の小中学校に出向いて講話や障害疑似体験などを行うことで、児童・生徒と障害者の交流を図るとともに、障害及び障害者への理解を深め、心のバリアフリーの推進につなげることを目的として「小中学生向け障害理解教室」を開催した。

- ・令和4年度実施学校数 37校・延べ41回（令和3年度：25校・延べ26回）
- ・令和4年度参加生徒数 2,057人（令和3年度：1,760人）
- ・教室の開催状況

実施日	学校名	講座名	参加生徒数
6月8日	秋田市立大住小学校	盲導犬を知ろう	89人
6月14日	秋田市立旭南小学校	車いす体験教室	53人
6月15日	秋田市立戸島小学校	盲導犬を知ろう	12人
6月17日	秋田市立金足西小学校	盲導犬を知ろう	22人
6月21日	秋田市立牛島小学校	車いす体験教室	72人
6月22日	大館市立城南小学校	盲導犬を知ろう	68人
6月24日	秋田市立飯島小学校	盲導犬を知ろう	75人
6月24日	小坂町立小坂小学校	車いす体験教室	22人
6月29日	由利本荘市立西目小学校	見えない世界を見てみよう	36人
6月29日	大館市立城南小学校	車いす体験教室	68人
6月30日	秋田市立泉小学校	見えない世界を見てみよう	64人
7月6日	秋田市立日新小学校	盲導犬を知ろう	148人
7月6日	由利本荘市鶴舞小学校	車いす体験教室	62人
7月13日	美郷町立六郷小学校	盲導犬を知ろう	48人
7月15日	由利本荘市大内小学校	車いす体験教室	19人
8月3日	能代ジュニアボランティアセンター	車いす体験教室	20人
8月31日	由利本荘市立本荘南中学校	盲導犬を知ろう	87人
8月31日	秋田市立旭南小学校	盲導犬を知ろう	53人
9月12日	秋田市立桜小学校	盲導犬を知ろう	139人
9月13日	秋田市立東小学校	盲導犬を知ろう	91人
9月14日	秋田市立寺内小学校	盲導犬を知ろう	51人
9月14日	大館市立南小学校	車いす体験教室	18人
9月15日	秋田市立飯島南小学校	盲導犬を知ろう	58人
9月15日	秋田市立上北手小学校	盲導犬を知ろう	46人
9月16日	秋田市立河辺小学校	車いす体験教室	26人
9月22日	秋田市立広面小学校	盲導犬を知ろう	91人
9月30日	秋田市立明德小学校	車いす体験教室	41人

10月 5日	能代市立湊城南小学校	盲導犬を知ろう	51人
10月13日	大館市立長木小学校	見えない世界を見てみよう	18人
10月20日	秋田市立保戸野小学校	盲導犬を知ろう	29人
10月21日	由利本荘市立新山小学校	車いす体験教室	42人
10月21日	由利本荘市立新山小学校	点字を学ぼう	42人
10月21日	由利本荘市立新山小学校	見えない世界を見てみよう	42人
10月26日	大仙市立東大曲小学校	盲導犬を知ろう	20人
11月 2日	秋田市立雄和小学校	盲導犬を知ろう	25人
11月 8日	秋田市立築山小学校	見えない世界を見てみよう	93人
11月11日	潟上市立東湖小学校	車いす体験教室	17人
11月25日	秋田市立下新城小学校	車いす体験教室	16人
11月28日	八郎潟町立八郎潟小学校	盲導犬を知ろう	24人
12月 6日	由利本荘市立矢島小学校	車いす体験教室	27人
12月 8日	大仙市立高梨小学校	見えない世界を見てみよう	32人

(3) 車いす使用者等への理解啓発事業

車いす使用者等への理解啓発を図るため、車いす使用者が講師として県内の小学校において感染症に配慮のうえ講座等を行うとともに、作成したパンフレットやリーフレットを配布することで障害に対する理解を深めた。

- ・実施学校数 4校 (令和3年度：8校)
- ・参加生徒数 247人 (令和3年度：473人)
- ・内 訳

実施日	学校名	講座名	参加児童数
7月11日	横手市立横手南小学校	車いす者支援講座	85人
7月13日	横手市立横手北小学校	車いす者支援講座	71人
9月 9日	秋田市立飯島南小学校	バリアフリー教室	59人
10月14日	秋田市立四ツ小屋小学校	バリアフリー教室	32人

2 社会参加の促進

(1) 身体障害者更生相談事業

身体障害者の更生のために必要な各種相談に応じ、適切な指導、助言を行うことで、身体障害者福祉の増進を図った。

- ・相談件数43件

(2) 身体障害者ジパング倶楽部への加入受付

日本身体障害者団体連合会と連携し、JR東日本の協力のもと、ジパング倶楽部の身体障害者向け特別会員の受付業務を行った。

- ・加入件数 新規4件 更新56件 合計60件

(3) 秋田県障害者スポーツ協会が実施する事業への協力

- ・「第20回秋田県障害者スポーツ大会」

令和4年8月20日(土)開催の「一般卓球競技」へ職員3名派遣

- ・「第22回全国障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会)」

開催日：令和4年10月29日(土)～31日(月)

令和4年10月7日(金)開催の結団式へ会長出席

(4) 秋田県身体障害者相談員連絡協議会事務局の移管

秋田県身体障害者相談員連絡協議会の事務局について、これまで同協議会秋田市支部が担当しておりましたが、令和4年度から当協会が所管することになり、令和4年7月5日に、秋田県身体障害者相談員連絡協議会事務局担当者と事務引継ぎを行った。

・秋田県身体障害者相談員連絡協議会の活動内容

総会等（正副会長会議、理事会、総会）の開催

・秋田県身体障害者相談員連絡協議会所属支部と会員数（10月21日現在）

秋田市支部27名、能代市支部9名、大館市支部8名、男鹿市支部5名、潟上市支部5名、大仙市支部12名、三種町支部3名、五城目町支部3名、井川町支部1名、合計73名

(5) 東北・北海道ブロック身体障害者相談員連絡協議会事務局の移管

秋田県身体障害者相談員連絡協議会の伊藤英紀会長が、令和4年4月21日に開催された東北・北海道ブロック身体障害者相談員連絡協議会理事会においてブロック会長に選任されたことから、ブロックの事務局が当協会に移管されることになり、これまで事務局を担当していた社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会から令和4年7月15日にオンラインで事務引継ぎを行った。

・東北・北海道ブロック身体障害者相談員連絡協議会の活動内容

東北・北海道ブロック身体障害者相談員連絡協議会研修会への参加、支部活動の支援及び連絡調整ほか

・東北・北海道ブロック身体障害者相談員連絡協議会所属団体（8団体）

青森県身体障害者相談員協議会、秋田県身体障害者相談員連絡協議会、岩手県身体障害者相談員連絡協議会、宮城県障害者相談員連絡協議会、山形県身体障害者相談員連絡協議会、福島県身体障がい者相談員協議会、札幌市身体障害者相談員連絡協議会、仙台市障害者相談員連絡協議会

【3】（重点目標3）・市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化

1 秋田県身体障害者福祉大会開催事業

身体障害者及び関係者が一堂に会して秋田県身体障害者福祉大会を開催し、障害者福祉への県民意識の高揚を図るとともに、併せて功労者の表彰を行うことにより、本県における身体障害者福祉の向上と住みよい地域社会づくりに寄与するために実施した。

◎第40回秋田県身体障害者福祉大会

・期 日 令和4年10月6日（木）

・場 所 あきた芸術劇場ミルハス「大ホール」（秋田市千秋明德町）

・受賞者

(1) 秋田県知事表彰16名

（自立更生者3名、団体育成功労者13名）

(2) 日本身体障害者団体連合会会長表彰1名

(3) 秋田県身体障害者福祉協会会長表彰21名

（自立更生功労者12名、団体育成功労者9名）

・出席者

(1) 表彰受賞者等 34名

(2) 来賓

国会議員(秘書)6名、秋田県議会福祉環境委員長、秋田県議会福祉環境委員3名、秋田市市長、秋田市議会議長、他18名

(3) 主催者

秋田県副知事、秋田県健康福祉部長、秋田県健康福祉部社会福祉監、秋田県健康福祉部次長、秋田県健康福祉部障害福祉課長、秋田県身体障害者福祉協会会長、秋田県身体障害者福祉協会副会長、秋田県身体障害者福祉協会常務理事他

・大会次第

《 第 1 部 》

1 開会のことば

2 君が代斉唱

3 物故会員に対する黙祷

4 あいさつ

秋田県身体障害者福祉協会会長 伊藤 英紀

秋田県副知事 神部 秀行

5 表彰

秋田県知事表彰

日本身体障害者団体連合会会長表彰

秋田県身体障害者福祉協会会長表彰

6 来賓祝辞

秋田県議会福祉環境委員長 吉方 清彦

7 来賓紹介

8 祝電披露

《 第 2 部 》

9 体験発表

大仙市身体障害者福祉協会 齋藤 敏子

秋田市身体障害者協会 阿部 勝彦

10 大会宣言

大仙市身体障害者福祉協会 齋藤 敏子

11 大会決議

五城目町身体障害者協会 石井 文義

12 閉会のことば

《 第 3 部 》

13 公演「岩本公水オンステージ」

・大会参加者数 約600名

2 市町村身体障害者協会長・事務担当者会議

各市町村身障協会の活動事例の情報交換等を行うなど、各団体の活動の活性化に向けた取組みの重要性について相互理解を深めるため、次のとおり実施した。

- ・期 日 令和4年6月22日（水）
- ・場 所 秋田県社会福祉会館10階大会議室
- ・内 容

（事業説明）

- （1）「秋田県身体障害者福祉協会令和4年度主要事業について」
社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会職員
- （2）「秋田県障害者スポーツ協会令和4年度事業について」
一般社団法人秋田県障害者スポーツ協会スポーツ推進員
- （3）「秋田県ボッチャ協会令和4年度事業について」
秋田県ボッチャ協会役員

（行政説明）

- （1）「秋田県多様性に満ちた社会づくり基本条例について」
秋田県あきた未来創造部あきた未来戦略課職員

（情報交換）

- （1）「市町村身体障害者協会の活動について」

- ・参加者 36名

3 障害者のための軽スポーツレクリエーション大会開催事業

令和2年度に体験会として行った「ボッチャ」を軽スポーツレクリエーションの正式競技として位置づけ、秋田県ボッチャ協会の指導のもと独自のルールで、気軽に楽しく参加できる大会として開催した。

- ・期 日 令和4年7月3日（日）
- ・場 所 秋田県社会福祉会館2階体育館・展示ホール
- ・実施競技 ボッチャ
- ・参加市町村 秋田市、能代市、横手市、男鹿市、由利本荘市、にかほ市、三種町、八峰町、五城目町
- ・参加者数 110名（選手65名、審判20名、引率15名、手話通訳員3名、事務局7名）

4 会報「身障秋田」の発行

当協会の事業活動や予算・決算を掲載した会報「身障秋田」を作成して市町村協会会員等に配布するとともにホームページで公開することにより、当協会の活動内容を広く周知した。

- ・発行月 令和5年1月
- ・発行部数 3,000部

5 令和4年度東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会の開催

東北・北海道ブロックの身体障害者団体が一堂に会し、共生社会の実現に向け、共通課題の解決を図った。

- ・期 日 令和4年7月21(木)～22日(金)
- ・場 所 ANAクラウンプラザホテル秋田(秋田市)
- ・報告事項
 - ①国及び日身連の最近の動きについて
 - ②令和3年度東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会に係る事業報告及び収支決算報告について
 - ③令和4年度東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会に係る事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ④東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会の開催順について
 - ⑤日身連副会長の定数削減について
 - ⑥会長、副会長及び日身連理事候補者選出規程の一部改正(案)について
 - ⑦令和3年度東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会事務局長会議での協議結果の報告について
- ・議 題
 - ①日本身体障害者団体連合会に対する要望事項について
 - 1 フォームによる定期的な調査・照会の実施について
 - 2 中度身体障害者が社会復帰し復職するまでの生活支援金としての「復職手当金」の創設及び国民健康保険加入者への「傷病手当金」創設による健康保険制度上の不均衡の是正について
 - 3 改正障害者差別解消法のワンストップ相談窓口について
 - 4 大規模自然災害発生時の支援体制の早急な整備について
 - 5 障害当事者団体活動における情報保障を公的に保障してほしい
- ・情報交換
 - ①加盟団体の組織強化対策について
 - ②中期計画策定(令和4年度～令和8年度)について
 - ③市区町村身障協会の会員数及び各管内身障手帳所持者数及び事務局体制・年会費等の状況について
 - ④各市区町村毎の身体障害者相談員の設置状況及び市区町村における相談員1人当たりの身体障害者数の状況等について
 - ⑤市町村における差別解消条例の制定について
 - ⑥協会女性部会の活動について
 - ⑦協会運営に係る収入確保策について
- ・事務局長会議
 - ①各団体からの検討依頼事項について
 - 1 中期計画策定(令和4年度～令和8年度)について
 - 2 障がい者のための結婚相談事業について
 - 3 日本身体障害者福祉大会について

・参加者数 27名

6 法人ホームページの運営

障害者情報ネットワーク「ノーマネット」を活用し、身体・知的・精神の障害のある方々に関する各種情報を提供している当法人のホームページを公開することによって、障害者福祉に関する各種情報の提供や市町村協会の紹介などを行い市町村協会会員の確保に努めた。

・年間アクセス数 11,410件

【4】（重点目標4）・人材育成のための研修事業の実施

1 サービス管理責任者（児童発達支援管理責任者）研修の実施

障害福祉事業所におけるサービスの質の確保と向上のため、関係法令等に基づくサービス管理責任者等の知識及び技術の向上等を目的に実施する研修で、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和4年度はオンライン形式のみによる研修日とハイブリット形式（オンライン研修と対面形式による集合研修の併用）のみによる研修日を分けて実施した。

（1）更新研修の開催

【更新研修①】

- ・期 日 令和4年9月1日（木）
- ・形 式 ハイブリット研修
- ・場 所 職場又は自宅（集合研修参加者は「秋田県社会福祉会館10階大会議室」で受講）
- ・修了者 86名

【更新研修②】

- ・期 日 令和4年9月2日（金）
- ・形 式 オンライン研修
- ・場 所 職場又は自宅
- ・修了者 95名

（2）基礎研修の開催

【共通講義】

- ・期 日 令和4年8月12日（金）～8月31日（水）
- ・形 式 eラーニングによる受講
- ・場 所 職場又は自宅

【基礎研修①】

- ・期 日 令和4年9月21日（水）～22日（木）
- ・形 式 オンライン形式
- ・場 所 職場又は自宅
- ・修了者 79名

【基礎研修②】

- ・期 日 令和4年10月12日（水）～13日（木）
- ・形 式 ハイブリット研修
- ・場 所 職場又は自宅（集合研修参加者は「秋田県社会福祉会館10階大会議室」で受講）
- ・修了者 88名

（3）実践研修の開催

【実践研修①】

- ・期 日 令和4年10月24日（月）～25日（火）
- ・形 式 ハイブリット研修
- ・場 所 職場又は自宅（集合研修参加者は「秋田県社会福祉会館10階大会議室」で受講）
- ・修了者 44名

【実践研修②】

- ・期 日 令和4年11月17日(木)～18日(金)
- ・形 式 オンライン形式
- ・場 所 職場又は自宅
- ・修了者 23名

(4) 研修準備打合せ会の開催

①全体会・更新研修打合せ会

- ・期 日 令和4年8月17日(水)
- ・場 所 「秋田県社会福祉会館9階第3会議室」
- ・内 容 研修内容の説明(WE B研修の進め方等)
- ・出席者 講師・ファシリテーター(助言者)15名、県障害福祉課1名、事務局2名

②基礎研修打合せ会

- ・期 日 令和4年9月20日(火)
- ・場 所 ウェブ会議(職場又は自宅)
- ・内 容 研修内容の説明及び演習の進め方等について
- ・出席者 講師・ファシリテーター(助言者)16名、県障害福祉課1名、事務局2名

③実践研修打合せ会

- ・期 日 令和4年10月18日(火)
- ・場 所 ウェブ会議(職場又は自宅)
- ・内 容 研修内容の説明及び演習の進め方等について
- ・出席者 講師・ファシリテーター(助言者)10名、県障害福祉課1名、事務局2名

(5) 国の指導者養成研修(リモート研修)への参加

①専門コース別研修(意思決定支援コース・障害児支援コース)

- ・期 日 令和4年9月13日(火)
- ・形 式 ズームによる双方向通信
- ・場 所 職場又は自宅
- ・参加人員 3名

②サビ管・児発管研修(基礎研修コース・実践研修コース・更新研修コース)

- ・期 日 令和4年9月14日(水)～16日(金)
- ・形 式 ズームによる双方向通信
- ・場 所 職場又は自宅
- ・参加人員 3名

【5】(重点目標5)・3障害(身体・知的・精神)を統合した事業の推進

1 芸術・文化講座開催等事業

第22回心いきいき芸術・文化祭を例年の実施内容を縮小するとともに、新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮しながら次のとおり開催した。

(1) 第22回心いきいき芸術・文化祭の開催

- ・期 日 令和4年11月3日(木)～5日(土)

・場 所 秋田市にぎわい交流館A Uあう

・内 容

① オープニングセレモニー

あいさつ

○秋田県副知事 神部 秀行

○心いきいき芸術・文化祭実行委員会委員長 内山 純男

来賓紹介

本年度テーマ「探そう自分らしさ、見つけよう自分の生きがい」採用者へ採用認定証授与

② 障害者芸術福祉展「出品作品数270点、行事終了後に360度カメラで撮影した
バーチャルツアー形式の映像を協会ホームページで紹介（常時公開中）」

③ 製品販売「延べ42か所の障害福祉事業所が参加し、手工芸品や加工食品などを販売」

④ 知的・発達障がい疑似体験

⑤ 講演：「外出困難でも自分らしく社会参加するために～OriHime パイロットの活躍と OriHime
の果たす役割～」

講師：株式会社オリィ研究所 事業開発部

個人向けOriHime プロダクトオーナー 坂下 翔 氏

OriHime パイロット 三好 史子 氏（ふーちゃん）

⑥ eスポーツ体験会

⑦ VR発達障害体験

⑧ 無料映画上映会「こんな夜更けにバナナかよ ～愛しき実話～」

⑨ 心いきいき「友活」交流会

⑩ 点字体験（秋田県点字図書館）

⑪ 秋田県障害者芸術福祉展表彰式

県障害福祉課長挨拶、秋田県知事表彰（一席）受賞者3名、各障害団体長賞（二席）受賞者3
名に表彰状を授与

3日間来場者延べ約900人

(2) 実行委員会の開催

① 第1回実行委員会

・期 日 令和4年8月5日（金）

・場 所 県心身障害者総合福祉センター

・内 容 役員選出、予算について、開催要綱（案）についてほか

・出席者 委員21名、事務局6名

② 第2回実行委員会

・期 日 令和4年9月15日（木）

・場 所 県心身障害者総合福祉センター

・内 容 テーマ決定について、オープニングについて、障害者芸術福祉展について、表彰式
について、製品販売について、イベントについてほか

・出席者 委員20名、事務局5名

③ 第3回実行委員会

- ・期 日 令和4年10月20日（木）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・内 容 オープニングについて、表彰式について、製品販売についてほか
- ・出席者 委員20名、事務局6名

2 専門相談機関設置事業（障害者110番）

障害に関する全般的な相談を行うとともに、障害を理由とする差別に関する相談に対応するための常設の相談窓口を設置、また、偶数月第3火曜日に弁護士による専門相談を行ったほか、県及び市町村の相談窓口への支援等を行った。

- ・相談件数123件（うち、弁護士相談6件、差別に関する相談4件）

II 事業別の概要

【1】障害者支援施設秋田ワークセンター事業の実績

1 総 括

年間を通じて新型コロナ感染対策に追われた1年であったが、利用者参加行事であるワークセンター祭り、クリスマス会、餅つき体験、節分などは昨年度に引き続き利用者と職員のみで行った。利用者の方からの要望の強い外出を伴う行事である外食支援と買物支援は、一般のお客さんの少ない時間帯を選び食堂やデパートで開催することができた。また、オミクロン株対応の4回目ワクチン接種については、利用者42名、職員30名が嘱託医等の協力を得て接種を行った。

新型コロナウイルス感染症の発生に関しては、8月11日から21日まで入所者34名と職員10名の合計44名の感染者が発生し、秋田市保健所と嘱託医等の指導のもと、職員総出で感染対策に取り組みを行い9月1日には終息したが、徹底した感染予防対策を講じて取り組んでいる。

就労支援事業では、コロナ禍で対面での会議や研修会等の開催が減少し、オンライン方式での開催が増え、これにより資料を印刷することが減るなどの影響から、印刷物の受注が前年度比で約2%減少した。また、印刷機械の老朽化などから機器の更新や修繕等により、経費節減は困難な状況であった。

施設入所利用者の確保については、市内の総合病院の相談室などへの訪問や、相談支援事業所などと連携を取りながら、利用者の確保を行った。また、着実に進んでいる入所利用者の高齢化と障害の重度化やこれに伴う重複障害に対応するため、夜間休日の生活支援職員を増員して支援体制の充実に努めた。引き続き、施設入所者の確保と生活介護・就労支援事業における利用者増に取り組むとともに、手厚い支援サービスの提供と魅力ある施設づくりに努めることとしている。

令和4年度の事業実績は次のとおりである。

2 各種事業の定員及び現員の状況

（令和5年3月31日現在）

施設入所支援事業	利用定員	48名	／	現 員	44名	（男性30名、女性14名）
生活介護支援事業	利用定員	40名	／	現 員	39名	（男性26名、女性13名）
就労継続支援B型事業	利用定員	40名	／	現 員	32名	（男性26名、女性 6名）

3 職員配置の状況

(令和5年3月31日現在)

職 種	職員数		担 当 業 務
	令和4年度	令和3年度	
所 長	1(1)	1	所内の総括、苦情解決責任者、会計責任者
サービス管理 責任者	2	2	個別支援計画、アセスメント、モニタリング等相談業務及び記録等の確認（生活・施設入所支援1名、就労支援1名）
事 務 員	3(1)	3(2)	予算・決算の事務処理及び金銭の出納、利用料の請求・精算等、職員の給与、福利厚生、利用者支援等
生活支援員	16(6)	12(7)	生活介護支援及び日常生活支援、相談業務
就労支援員	8(6)	7(3)	作業支援及び指導、製品管理、営業販売、相談業務
看 護 師	2(1)	2	利用者等の健康管理
管理栄養士	1	1	給食献立、利用者の栄養管理
調 理 員	5(5)	6(6)	給食業務
嘱 託 医	1(1)	1(1)	利用者の健康管理・診断、医務相談
合 計	38(20)	35(20)	嘱託医除く

※（再掲）は嘱託職員・非常勤職員及びパート職員数

4 事業の実施状況

(1) 施設入所支援事業

コロナ禍の中で、施設内の換気や消毒、利用者の体調確認等の感染症予防対策に努めた。また、利用者が安全で安心して生活できるように支援の充実に努めた。個別支援計画では、利用者へのアセスメントやモニタリングに十分時間をとり、利用者の多様なニーズに対応するため関係者で協議を行い適切な個別支援の提供に努めた。

また、利用者の身辺自立を妨げないよう配慮した施設設備の改善を進めるとともに、夜勤者及び日勤者が起床・就寝時、朝・夕の食事前、後、土日・祭日及び緊急時における様々なニーズに対応するため、職員間の情報共有を進めるなど切れ目のない支援体制の充実に努めた。

更に支援職員のチーム化や支援動作の確認・検証を行い、マニュアル化して職員個々の無駄な動きや重複支援を見直すなど、最適な支援の提供やリスク軽減のための支援体制の充実に努めた。また、日々の健康管理や食事・排せつ支援、生活相談を行うとともに利用者の満足度調査を実施するなど、利用者が充足感を得られるよう適切なサービス提供に努めた。

(2) 生活介護支援事業

新型コロナウイルス感染対策の為、日中活動やレクリエーションなどは入所利用者と通所利用者を分けて実施するとともに、利用者の多様なニーズに応えるため、食事や入浴、排せつの介護、生活情報の提供など、日常生活における個人支援プログラムに沿ったサービスの提供に努めた。

更に、身体の機能維持や健康の保持、増進のために理学療法士による機能訓練計画を立て、計画に沿った訓練を実施し、通院・受診及び服薬支援のサービス提供を行った。

食生活の充実のため、配膳や下膳はもちろんのこと、個人に合った福祉用具を準備し、年齢とともに低下する嚥む力や飲み込む力の低下を予防するため、口腔体操を行うなど支援の充実に努めた。

新型コロナウイルス感染症の影響から、これまで利用者が楽しみにしてきた各種行事は利用者職員のみで行い、利用者の方からの要望のある外食支援と買物支援については、感染状況をみながら、感染リスクを減らす工夫等をしながら行った。

利用者の高齢化と重度化による転倒などの事故防止、また、移乗支援などによる職員の負担軽減を

図るため、職員研修や福祉用具を積極的に活用するなどして負担軽減を図った。

(3) 就労支援事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、町内会や企業・団体の各種イベントが中止や延期となり、総会資料やパンフレット等の印刷受注が減少し、就労支援事業の売上収入は厳しい状況が続いているが、令和4年度は受注目標50,988千円に対し実績が51,928千円で、目標を達成することができた。年間を通しての大きな受注回復の傾向は、まだ見られないが、新型コロナウイルスの感染拡大状況が下火になりつつあったことなどが、企業及び各種団体からの受注の回復につながったのではないかと推測される。

軍手の受注は減少傾向にあり売り上げは減少しているが、原材料費の値上げが続いていることに加え、軍手編み機の老朽化に伴い修繕が必要な機械が多いため、良質な製品の安定的供給のため、随時、設備の点検整備に取り組んでいる。

古布を利用したリサイクル等のウエス作業は受注件数、収益とも増加傾向にある。営業活動も継続しており、新規顧客の確保に力を入れている。ただ、新型コロナウイルス感染症のまん延等により材料確保は時期により困難な場合もあるが、情報収集に努めながら古布の確保等に取り組み、納期を守った工程管理を行っている。

利用者の工賃の総支給額は6,451千円であった。

5 施設の整備状況等

① 第一作業棟、事務室等環境改善整備

旧型の冷房専用のクーラーを撤去し、エアコンを設置し作業環境の向上に努めた。

② 多目的ホール空調設備整備

旧型の冷房専用のクーラーを撤去し、エアコンを設置するため、秋田県の省エネルギー化支援事業費助成金（2,000千円）を活用して整備し居住環境の向上を図った。

③ 倒木の撤去

9月7日台風11号により第一作業棟に木が倒れ掛かり、土地所有者の秋田市（障がい福祉課）が松の木2本の撤去を行った。

6 機器の購入及び設備の整備状況

(1) 施設全般

① 福祉ロボット等の導入

利用者安全見守りシステムで、転倒や徘徊などによる事故を未然に防ぎ、介護用ロボットを活用した利用者の移乗支援を行うことにより職員の負担軽減を図った。秋田県の福祉ロボット等導入補助金（1,400千円）を活用して整備した。

② アルコールチェッカーの導入

車両運転者のアルコールチェック義務化に伴い、職員個々の検知結果データをパソコンで管理可能なアルコール検知器を導入した。

(2) 生活介護支援事業

利用者の利便性と職員の負担軽減のために、電動ベッド2台を導入した。

(3) 就労継続支援事業

- ① カラー印刷用4色印刷機の修繕を実施
- ② コンピューター裁断機を導入
- ③ 軍手10ダース結束機の導入と修繕を実施
- ④ 手袋編み機2台を新たに導入

7 給食提供の状況

(1) 行事食・選択食の実施

四季折々の日本の食文化や斬新なアイデアを盛り込んだメニューや満足感や幸福感など心理的な面も大切にしながら、楽しい豊かな食事提供を目指して年14回の行事食と9回の選択食を実施した。

(2) 利用者の健康づくり

年4回の食事摂取量調査や身体・健康状況に関するデータを支援員、看護師などの専門職と共有して連携をはかり個別の栄養ケア・マネジメントの作成により、健康的な身体機能の維持増進のために栄養と健康の管理に努めた。生活習慣病の重篤化と合併症予防のため、栄養バランスと減塩を重視したメニュー提供と食事指導を実施した。

(3) 福祉弁当

下北手地区社会福祉協議会から委託を受けて、地域の独居老人に対して月1回(6月～9月の夏期間は中止)年間96食の福祉弁当を提供した。

8 健康管理の状況

(1) 定期健康診断、定期診察等

健康管理のために年2回の定期健康診断、月1回の嘱託医の診察、月1回の体重測定、週1～2回の血圧測定などの定期健診の充実を図り、疾病の早期発見・早期治療に努めた。

また、利用者のほとんどの方が何らかの疾病を抱え治療中であるため、計画的な定期通院と服薬管理の徹底に努めた。

(2) インフルエンザ感染予防

インフルエンザ感染予防のために、予防接種料金の一部を施設が負担し、利用者59名、職員34名に予防接種を行った。(罹患者なし)

(3) ノロウイルス等感染予防

所内での感染を防ぐために、施設内の消毒や日常生活における手洗い・うがいを励行し、朝の会やポスターの掲示等を通じて利用者等の意識の高揚に努めるとともに、職員に対しては、所内研修において発生時の対応についての手順、注意事項の確認を徹底した。(罹患者なし)

(4) 機能訓練の実施

平日の月曜日から金曜日の13時30分から15時まで、理学療法士の作成した個別プログラムに添った機能訓練を実施し身体機能の保持増進を図った。

また、平日の11時から11時20分(昼食前)、16時30分～16時50分に「お口の体操」を行い、口腔機能の低下防止に努めた。

(5) 新型コロナウイルス感染予防

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために防護服の着脱や感染者が発生した場合の緊急時対応に

備えて、これまで訓練を行ってきたが、8月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、感染のスピードが速くゾーニング（汚染区域と非汚染区域との区別）の難しさを痛感した。感染終息後も施設内で利用者や職員が接触する部分（手すり、ドアノブ、リモコン、蛇口など）は、毎日消毒を行い、衛生環境の強化に努めるとともに、抗原検査キットを有効に活用し、施設内感染の防止に努めた。防護服の着脱については、チェック表を作成し個々の着脱状態を確認し正確に実施できるように指導した。新型コロナワクチンの接種は嘱託医等の協力を得て実施し、4回目のオミクロン株対応ワクチン接種を実施した。

9 衛生管理の状況

(1) 寝具類・シーツ交換

寝具類（枕、掛布団・肌掛、ベットパット等）の交換を年1回、シーツ・カバー類（掛布団・肌掛布団用）は毎週1回交換し衛生管理に努めた。

(2) 居室、浴室等の清掃

利用者の居室清掃（荷物の整理整頓及び室内清掃）を週1回以上行った。居室や共通利用スペースの浴室、脱衣室、廊下、多目的ホール等の清掃を毎日行い衛生管理に努めた。

(3) 入浴

一般入浴を月・木曜日の13時から16時まで行い、7月～9月の期間は水曜日・土曜日もシャワー浴を行った。

特浴は、月・木曜日の9時から12時まで、支援入浴は火・金曜日に行い、女子は9時から12時まで、男子は13時30分から16時までとして順番を決めて混雑がなくゆっくりと入浴をして頂いた。その他、入浴の出来ない利用者には清拭等も行いながら、身体の衛生保持に努めた。

10 災害事故防止等訓練の状況

(1) 重度障害者への防災上の配慮

①同室者（2人部屋）への配慮として、できるだけ歩行の困難な人同士や聴覚障害者同士等の組み合わせにならないよう配慮してやむを得ず同室にする場合は、緊急呼出ベルの設置や隣室者からの協力や職員への通報を密にするなどの対応を行った。

②障害の程度に対応した避難路の確保に努め、歩行の困難な人や目の不自由な人等は避難口に近い居室にするなどの配慮を行った。

③予備の車椅子を利用しやすい場所に配置するなど利便性に配慮した。

(2) 事故や災害防止と安全のために

①防災計画

きめ細やかな消防・防災計画の整備と万全な備えを行い、予防に重点を置いた取り組みを実施し、設備の点検・管理や整理・整頓を徹底した。

②避難訓練

日中・夜間（想定）も含めた総合訓練（通報、初期消火、避難の消火器操作訓練等）や、災害を未然に予防する防火思想の普及・徹底を図った。

また、災害時や停電時における安全対策や機械器具、装置の操作手順の周知に努めた。

自家発電機からコンセントまでの電線の整備を行っており、常にナースコール対応ができる等、停

電時の電源の確保に努めた。

11 就労支援事業の研修

事業名	研修日
就労B型事業利用者・家族会合同研修	新型コロナウイルス感染症対策のため中止

12 就労支援事業の推移

(1) 事業収入額の推移 (単位：円)

区分	就労継続支援A型	就労継続支援B型	年度総計
平成30年度	46,246,214	20,825,252	67,071,466
令和元年度	49,158,665	14,350,632	63,509,297
令和2年度	40,123,467	13,755,704	53,879,171
令和3年度	38,431,395	14,047,650	52,479,045
令和4年度	(休止中)	51,928,912	51,928,912

(2) 工賃支給実績額の推移 (単位：円)

区分	就労継続支援A型	就労継続支援B型	年度総計
平成30年度	12,183,983	5,908,490	18,092,473
令和元年度	12,291,748	5,146,910	17,438,658
令和2年度	12,658,061	5,069,000	17,727,061
令和3年度	10,163,193	5,429,040	15,592,233
令和4年度	(休止中)	6,451,839	6,451,839

13 利用者の状況

(1) 施設入所・生活介護支援事業

①市町村別の入所・生活介護利用者数 (単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
秋田市	17	11	28	14	11	25
男鹿市	1	1	2	1	1	2
横手市	0	1	1	0	0	0
大仙市	4	0	4	4	0	4
能代市	3	0	3	3	0	3
北秋田市	1	0	1	0	0	0
潟上市	1	0	1	1	0	1
小坂町	1	0	1	1	0	1
五城目町	1	0	1	1	0	1
三種町	1	1	2	1	1	2
計	30	14	44	26	13	39

②年齢別・性別の入所・生活介護利用者数 (単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0
20～29	1	0	1	1	0	1
30～39	1	1	2	1	2	3
40～49	2	2	4	2	2	4

50～59	6	4	10	5	2	7
60～69	11	4	15	10	4	14
70歳以上	9	3	12	7	3	10
計	30	14	44	26	13	39
平均年齢	61歳	61歳	63歳	61歳	57歳	61歳

③ 入所・生活介護利用者の利用期間 (単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
1年未満	4	1	5	3	1	4
1年以上～3年未満	6	2	8	6	2	8
3年以上～5年未満	1		1	1		1
5年以上～10年未満	3	4	7	3	3	6
10年以上～15年未満	3	1	4	3	2	5
15年以上	13	6	19	10	5	15
計	30	14	44	26	13	39

④ 障害別利用者区分 (内数) は重複者数 (単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
身体障害者	27 (3)	11 (3)	38 (6)	23 (3)	10 (4)	33 (7)
知的障害者	4 (2)	5 (2)	9 (4)	4 (2)	6 (3)	10 (5)
精神障害者	2 (1)	1 (1)	3 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)
計	33 (3)	17 (3)	50 (6)	29 (3)	17 (4)	46 (7)

⑤ 入所・生活介護利用者の障害支援区分 (単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
支援区分1	0	0	0	0	0	0
支援区分2	1	0	1	0	0	0
支援区分3	12	5	17	9	5	14
支援区分4	8	4	12	8	3	11
支援区分5	9	4	13	9	4	13
支援区分6	0	0	0	0	1	1
非該当	0	1	1	0	0	0
計	30	14	44	26	13	39

⑥ 新規入所・生活介護利用者数と利用直前の生活状況 (単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
他施設利用	1	0	1	1	0	1
自宅	1	1	2	1	1	2
病院	2	0	2	1	0	1
その他	0	0	0	0	0	0
計	4	1	5	3	1	4

⑦ 退所利用者数と退所理由

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
自宅（家庭復帰）	0	0	0	0	0	0
他施設	2	2	4	2	1	3
通所から入所へ	0	0	0	0	0	0
病院	5	0	5	5	0	5
グループホーム	0	0	0	0	0	0
計	7	2	9	7	1	8

⑧ 身体障害区分

(内数) は重複者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
上肢障害	15(15)	8(8)	23(23)	14(14)	7(7)	21(21)
下肢障害	20(15)	9(8)	29(23)	18(14)	9(7)	27(21)
体幹障害	5(1)	1	6(1)	3(1)	1	4(1)
視覚障害	1	0	1	1	0	1
聴覚障害	1(1)	1	2	1	0	1
内部障害	2(1)	0	2(1)	2(1)	0	2(1)
計	44(17)	19(8)	63(25)	39(16)	17(7)	56(23)

(2) 就労支援事業

①市町村別利用者数

(単位：名)

区分	B型通所利用者		
	男	女	計
秋田市	23	4	27
男鹿市	1	0	1
横手市	0	2	2
能代市	1	0	1
北秋田市	1	0	1
計	26	6	32

③ 年齢別・性別利用者

(単位：名)

区分	B型通所利用者		
	男	女	計
20～29	4	0	4
30～39	3	4	7
40～49	5	0	5
50～59	6	2	8
60～69	6	0	6
70歳以上	2	0	2
計	26	6	32
平均年齢	50歳	41歳	48歳

③ 利用者の世帯状況

(単位：名)

区 分	B型通所利用者		
	男	女	計
親が生存	16	4	20
兄弟、姉妹世帯	7	2	9
配偶者有り	2	0	2
家庭消滅	0	0	0
その他	1	0	1
計	26	6	32

④ 新規利用者数と利用直前の生活状況

(単位：名)

区 分	B型通所利用者		
	男	女	計
他事業所利用	12	1	13
自宅	1	0	1
その他	13	5	18
計	26	6	32

⑤ 障害支援区分の状況

(単位：名)

支援区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
利用者数	0	5	9	5	0	0	13	32

⑥ 障害別利用者区分

(内数)は重複者数

(単位：名)

区分	男	女	計
身体障害者	18(3)	5(1)	23(4)
知的障害者	10(3)	2(1)	12(4)
精神障害者	0	0	0
その他(手帳無し)	1	0	1
計	29(3)	7(1)	36(4)

⑦ 身体障害区分

(内数)は重複者数

(単位：名)

区分	男	女	計
上肢障害	9(4)	1(1)	10(5)
下肢障害	8(4)	4(1)	12(5)
体幹障害	3	0	3
視覚障害	0	0	0
聴覚障害	1	1	2
内部障害	1	0	1
計	22(4)	6(1)	28(5)

(3) 医務室における処置及び利用者の入退院の状況

(単位：名)

区分	施設医務室における処置		入院		通院		
	実人員	延処置日数	実人員	延日数	実人員	延日数	
診療科目	内科系疾患	3	501	9	394	47	423
	外科系疾患	14	1,812	1	42	14	45
	精神科	0	0	2	124	12	77
	皮膚科	36	5,395	1	11	38	214
	眼科	11	2,082	1	2	20	41
	歯科	0	0	0	0	13	83
	耳鼻科	0	0	0	0	9	28
	泌尿器科	0	0	0	0	10	314
	その他	0	0	1	15	2	2
計	64	9,790	15	588	165	1,227	

(4) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)、結核、疥癬等感染症等の予防対策及び実施状況

予防対策	実施状況
① (MRSA)：うがい、手洗いの励行。看護者の処置前後の手洗い消毒の徹底 高圧蒸気滅菌器による器具消毒 自動手指消毒器の設置 ② 結核：胸部レントゲン写真撮影(年1回)及び内科検診 ③ 疥癬：清潔、センター周囲の環境整備 ④ ノロウイルスによる感染性胃腸炎・病原性大腸菌O-157： 手洗い、うがい、身体の抵抗力を養う。異常の早期発見。自動手洗機、石鹼液の設置 ⑤ インフルエンザ：ワクチン接種	① 紙コップ、ペーパータオルを置き、声かけをし、うがい、手洗いの励行に努めた。また、通院後、手指消毒器により消毒し、処置の始め、終わりにも消毒を実施。 ② 結核検診を1回/年、内科検診を2回/年実施した。 ③ 寝具類の清潔を図る。寝具の交換(年1回以上)、シーツ類等交換1回/週 ④ 安全な食事の提供。手洗いの徹底。体調不良者を早期にチェックする。 ⑤ インフルエンザワクチンの接種。利用者59名、職員34名

(5) 新型コロナウイルス感染症の予防対策及び実施状況

予防対策	実施状況
① 職員の対応 ② 出勤の有無について ③ 利用者の通院について ④ 私用の外出について ⑤ 送迎支援について ⑥ 入所利用者の検温、体調観察 ⑦ 施設内の感染防止対策 ⑧ 抗原検査の実施 ⑨ ワクチン接種(4回目)の実施	① マスクの着用、手洗い・手指消毒・うがいの徹底 ② 出勤前、出勤時の検温。同居家族の健康観察 ③ マスクの着用、手洗い・手指消毒・うがいの徹底 電話診察、通院回数の調整 ④ 不用不急の外出はしない。マスクの着用、手洗い・手指消毒・うがいの徹底、外出後の検温、健康観察 ⑤ 送迎車内の消毒 ⑥ 検温と聞き取りによる異常の早期発見 ⑦ 換気の徹底と共有して接触する部分の消毒 ⑧ 抗原キットを使用して実施 ⑨ 嘱託医、かかりつけ医、集団接種で実施

(6) 利用者の健康診断

期間	実施人員	調査項目	検査機関
6月1日 ～7月26日	44名 10名 35名 34名 33名 30名 42名 27名	胸部X線検査(直接) 大腸がん(便潜血) 採血(貧血、肝機能) 心電図 視力検査 聴力検査 尿検査 内科検診(B型利用者)	中通りハビリ病院 ふき健診クリニック
7月14日 ～10月13日	全員	内科検診、聴打診、血圧測定、問診	鎌田循環器科クリニック
令和5年 1月12日 ～3月9日	全員	内科検診、聴打診、血圧測定、問診	鎌田循環器科クリニック (嘱託医)

14 職員の定期健康診断

期間	実施人員	実施職種	検査項目	検査機関
6月1日 ～7月9日	17名	35歳以下の職員	胸部X線、尿、心電図、採血他 (労働安全衛生法66条に基づく検査)	ふき健診クリニック
5月9日 ～2月24日	18名	35歳以上の職員	生活習慣病予防、大腸がん、胃検診、乳癌、子宮がん	秋田赤十字病院 附属あきた健康管理センター 市立秋田総合病院
5月25日 ～1月30日	4名	20～38歳偶数年齢女子職員	子宮がん	市立秋田総合病院
12月4日 ～3月17日	11名	夜勤職員	血圧、問診、尿、身長、体重 聴力、心電図、採血	ふき健診クリニック

15 避難訓練の実施状況

月日	訓練の想定	訓練内容詳細
7月13日	地震想定消防訓練	非常通報、避難誘導、救急救護、非常放送
10月19日	日中火災想定訓練、 消火器操作訓練	非常通報、初期消火、避難誘導、救急救護、非常放送
11月9日	夜間火災想定訓練	非常通報、初期消火、避難誘導、救急救護、非常放送

16 施設内研修の実施状況

実施日	実施内容	講師及び開設者	摘要
11月17日	腰痛予防対策講習 ・腰痛の要因、人の身体構造 ・姿勢、動作のポイント ・腰痛防止体操	ひがし稲庭クリニック 理学療法士 庄子充氏	参加者12名
2月13日	介護技術講習会 ・介護技術基本の「き」再確認しよう ・ボディメカニクスを使う	秋田県介護福祉士会「チームあきた」 戸島順子氏、藤巻恵梨子氏	参加者11名

11月11日 ～18日	施設における感染予防対策 ・新型コロナウイルス感染症対策（実践編）YouTubeチャンネル視聴	看護師 土田・藤田	参加者 25名
12月15日 ～3月2日	・感染症対策キットの装着・脱衣の手順等		
9月14日 11月16日 1月18日 2月13日 2月22日 2月24日 2月27日 2月28日	虐待防止研修 ・相談と通報 ・身体拘束等と適正化	虐待防止委員会 担当者 加賀谷、菅原、安田	参加者 43名

17 外部研修の実施状況

月 日	研修名・場所	参加者
4月27日	秋田県社会就労センター協議会及び施設長等セミナー (WEB)	所長
6月21日	調理技術研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	調理員
6月30日	工賃向上セミナー (WEB)	所長、サービス管理責任者(就労)、生活支援員
7月6日	安全運転管理者等法定講習 秋田市 にぎわい交流館 AU	総務企画課長
7月16日	小型車両系建設機械特別教育 秋田市 太平建機教習センター	生活支援員
7月20日	タイムマネジメント研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
7月21 ～22日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
7月25 ～26日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (管理職員コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
8月25日	障害者総合支援法に基づく集団指導 (WEB)	所長
8月31日	法人後見人受任体制整備研修会 (WEB)	所長
9月13日	福祉保健施設・事業者等看護職員研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	看護師
9月21 ～22日	サービス管理責任者基礎研修 (基礎研修) (WEB)	生活支援員
10月1 ～2日	介護福祉士実習指導者講習会 秋田市 日本赤十字秋田短期大学	サービス管理責任者 (生活)
10月4日	施設給食担当職員研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	調理員
10月12日～ 13日	サービス管理責任者基礎研修 (基礎研修) (WEB)	生活支援員

10月15 ～16日	介護福祉士実習指導者講習会 秋田市 日本赤十字秋田短期大学	サービス管理責任者 (生活)
10月17 ～18日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダーコース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
10月20 ～21日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (中堅職員コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
10月22日	秋田県医療的ケア児等支援者養成研修 (WEB)	相談支援員
10月24 ～25日	サービス管理責任者基礎研修 (実践研修) (WEB)	目標工賃達成指導員
10月27日	雇用管理セミナー 秋田市 秋田テルサ	総務企画課長
11月1日	調理技術研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	調理員
11月25日	福祉保健施設・事業所等事務職員研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	事務員
11月28日	クレーム対応研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
11月29 ～30日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (初任者コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
12月1日	調理技術研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	栄養士
12月1日	職場におけるメンタルヘルス対策講習会 秋田市 秋田県社会福祉会館	総務企画課長
12月8日	支援者のための成年後見活用講座 (WEB)	相談支援員
12月9日	秋田県相談支援従事者現任研修 (WEB)	相談支援員
12月9日	リスクマネジメント研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
12月12日	秋田県社会福祉法人経営者協議会協議会 障害者施設経営委員会 情報交換会	所長
12月21日	意思決定支援研修会 秋田市 アルヴェ	サービス管理責任者 (生活)
12月21日	インボイス制度説明会 秋田市 秋田南税務署	事務員
1月13日	秋田県障害福祉団体協議会 障害福祉団体合同研修会 (WEB)	生活支援員
1月31日	施設等相談援助職員研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	相談支援専門員
2月3日	福祉実践 2022in あきた 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員 2名
2月3日	秋田県地域公益活動連絡会 (WEB)	所長
2月9 ～10日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (初任者コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員

2月11 ～12日	障害者のためのレクリエーション支援者養成研修 (WEB)	生活支援員
2月14 ～15日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修(中堅職員コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
2月28日	苦情解決研修会 (WEB)	生活支援員
3月7日	認知症介護基礎研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援課長
3月11 ～12日	社会福祉士実習指導者講習会 (WEB)	相談支援員

【2】秋田ワークセンター相談支援事業の実績

1 総括

障害福祉サービス利用者に対してアセスメントし、サービスの利用調整を行い包括的かつ継続的にサービスが提供されるよう支援した。又、サービスが的確に提供されているか、新たなニーズは発生していないか等モニタリングを行い、適切な社会資源を有効活用しながら自己実現できるようサービス等利用計画の見直しを行った。

障害者・家族が抱える複合的なニーズに対して、医療・保健・介護・福祉・教育・雇用・司法等多面的な視点や専門性からその本質を見極め、多職種連携及びチームアプローチより、本人・家族へケアマネジメントを円滑に実施した。

秋田市における障害福祉の支援システムづくりに関して中核的な役割を担う「秋田市障がい者総合支援協議会相談支援部会」や障害者等の親亡き後に備えると共に地域移行・地域定着を推進するための「地域生活支援拠点等会議」の委員として相談支援専門員が積極的に関わった。

相談支援専門員としての資質向上と専門的知識の習得を図るため、積極的に各種研修会へ参加した。令和4年度の事業実績は以下の通りである。

2 事業及び職員

- (1) 事業 指定特定相談支援事業(計画作成)
- (2) 職員 管理者 1名(兼務)
相談支援専門員 2名(専任)

3 事業の内容

- (1) サービス等利用計画の作成及び提出
- (2) サービス等利用計画作成後の便宜の提供
- (3) サービス等利用計画の変更

4 事業の主な対象者

- (1) 身体障害者
- (2) 知的障害者

5 月別件数

月	サービス等利用計画作成		モニタリング	
	身体	知的	身体	知的
4月	15	18	15	8
5月	0	7	22	15
6月	2	8	9	14
7月	5	5	11	5
8月	6	6	11	7
9月	1	2	26	26
10月	4	5	6	8
11月	3	5	14	13
12月	3	9	10	3
1月	3	16	13	11
2月	6	4	8	5
3月	3	2	19	11
計	51	87	164	126
総数	138 (117)		290 (259)	

※計画相談モニタリング加算含む

() は令和3年度実績

6 会議・研修への参加状況

期間	内容	場所	出席者
月1回開催 (9月~2月)	障がい者総合支援協議会 相談支援部会	秋田市役所「センタース」	相談員
6月17日~7月4日	相談支援従事者現任研修(講義)	e-ラーニング	相談員
7月29日	障害者差別解消に係る相談対応 職員研修会	県庁	相談員
8月10日	相談支援従事者現任研修(講義・演習)	オンライン	相談員
8月23日	秋田県医療的ケア児支援セン ター『コラソン』説明会	オンライン	相談員
9月1日	障害福祉サービス事業所合同説明会	あきた総合支援エリアか がやきの丘「大体育館」	相談員
9月2日	サービス管理責任者研修更新研修 ファシリテーター	社会福祉会館	相談員
9月15日	成年後見制度利用促進実務研修 会(権利擁護支援機能強化研 修)	JAビル	相談員
9月16日	相談支援従事者現任研修(実地研修)	オンライン	相談員
9月21日~22日	サービス管理責任者研修基礎研修 ファシリテーター	県社会福祉会館	相談員
10月1日	医療的ケア児等支援者養成研修	オンライン	相談員

10月6日	令和4年度秋田県身体障害者福祉大会	ミルハス	相談員
10月7日	相談支援従事者現任研修(実地研修)	あきぎんスタジアム	相談員
10月12日	相談支援従事者現任研修(実地研修)	利用者宅	相談員
10月17日	相談支援従事者現任研修(講義・演習)	オンライン	相談員
10月24日~25日	サービス管理責任者研修実践研修 ファシリテーター	県社会福祉会館	相談員
10月27日	相談支援従事者現任研修(実地研修)	あきぎんスタジアム	相談員
11月11日	相談支援従事者現任研修(実地研修)	あきぎんスタジアム	相談員
11月17日~18日	サービス管理責任者研修実践研修 ファシリテーター	県社会福祉会館	相談員
11月28日	秋田市基幹相談支援センター主催による 事例検討会	秋田市役所「センタース」	相談員
12月8日	支援者のための成年後見活用講座	オンライン	相談員
12月9日	相談支援従事者現任研修(講義・演習)	オンライン	相談員
2月28日	ヤングケアラー支援について	オンライン	相談員
3月7日	地域生活支援拠点等会議	秋田市役所「センタース」	相談員 2名
3月11日~12日	社会福祉士実習指導者講習会	オンライン	相談員

7 職員の定期健康診断

期間	検診機関	実施人員
7月4日	秋田赤十字病院	1
2月24日	秋田赤十字病院	1

【3】コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム事業の実績

1 総括

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、職員と利用者は手洗い、消毒、外出時等における手指の消毒の徹底等に全力で取り組むなど感染対策に努めていたが、9月26日から10月6日まで利用者4名(50%)と職員1名が感染し、その後、令和5年2月14日にも新たに利用者1名が感染し、関係職員で感染拡大防止と早期終息に努めた。引き続き感染症防止対策の徹底に取り組んでいる。

ホームでは、利用者が安心して暮らせるよう、サービス利用に関するアセスメントやモニタリングに十分時間をとり、利用者のニーズを充足するため関係者で話し合いを行い、個別支援の充実を図り利用定員8名を維持している。

短期入所では、秋田市障がい福祉課や相談支援事業所等と連携を図り、地域生活支援拠点等の体制づ

くりを進めた。

令和4年度の事業実績は次のとおりである。

2 定員及び現員の状況 (令和5年3月31日現在)

共同生活援助 利用定員 8名／現員 8名 (男性8名)
短期入所 利用定員 2名／現員 2名 (男性2名)

3 職員配置の状況 (令和5年3月31日現在)

① 管理者 1名 (兼務)
② サービス管理責任者 1名 (兼務)
③ 生活支援員 2名
④ 世話人 4名 (兼務1名)
⑤ 事務員 1名 (兼務1名)
⑥ 夜間支援従事者 9名 (兼務9名)

4 事業の実施状況

(1) 共同生活援助

利用者が安全で安心な日常生活を過ごすことができるよう夜間、休日における起床、就寝、食事提供、入浴支援等日常生活の相談及び助言等を行い、快適な生活を過ごすことができるよう支援を行った。

又、個別支援計画は、利用者のニーズに基づいた支援が提供できるよう作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援し、行政機関や他の障害福祉サービス事業所等と密接な連携に努めた。

(2) 短期入所

利用者又はその家族の緊急時における対応として、利用者の宿泊を伴う支援を提供するため、その身体状況や置かれている社会・家庭環境に応じて、入浴や排せつ、食事の介護等必要な支援を適切かつ効果的に行った。新型コロナウイルス感染防止のため、短期入所の受入れ時には事前に抗原検査キット等で検査を行い、陰性であることを確認してから受入れを行った。

また、行政機関や他の障害福祉サービス事業所等と密接な連携に努め、利用者等に関する情報共有を図った。

5 給食提供の状況

(1) 日々の食事が美味しく家庭的な雰囲気の中で、栄養バランスや体調に配慮し、季節を感じられるよう四季の郷土食等も交えて提供した。又、食前の手洗い、うがいを励行し、食中毒及び感染症の予防を徹底した。

(2) 調理者の健康管理（腸内細菌検査等）及び衛生管理（手洗い、清潔な服装等）に留意し、集団食中毒及び感染症の予防対策に万全を期すとともに、調理場や食堂の衛生管理（食器・調理器具等の消毒、調理環境の清掃、整理整頓等）の徹底に努めた。

6 入居者の健康管理の状況

入居者の定期通院や内服管理の支援を行うとともに、血圧測定等を定期的に行うなど、病気の早期発見、早期治療に努めた。

7 衛生管理の状況

(1) 寝具類の交換及びシーツ交換

寝具類（枕、敷・掛布団等）の交換を年1回、シーツ、カバー類（枕・布団等用）の交換を週1回行い寝具類の清潔に努めた。

(2) 居室、浴室等の清掃

利用者が自ら居室の清掃（荷物の整理整頓及び床や隅々の清掃）を行うよう支援するとともに、共通部分である浴室、脱衣室、廊下、食堂等の清掃を行い衛生管理に努めた。

(3) 入浴

入浴日は月・水・金曜日の週3回とし、6月～9月は火・木・土・日曜日をシャワー浴も提供した。又、安全で快適に入浴ができるよう、利用者のニーズに応じた支援を行った。

8 災害事故防止等訓練の状況

(1) 防災計画

きめ細やかな消防・防災計画の整備と万全な備えを行い、予防に重点を置いた取り組みを実施し、設備の点検・管理や整理・整頓を徹底した。

(2) 避難訓練

所轄の秋田市城東消防署の指導を得て、日中・夜間想定も含めた総合訓練（通報、初期消火、避難、消火器操作訓練等）や、地震想定での避難訓練を行い、災害を未然に予防する防火思想の普及・徹底を図った。又、災害時や停電時における安全対策や機械器具装置の操作手順の周知に努めた。

9 利用者の状況

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(1) 共同生活援助

①市町村別の利用者数

(単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
秋田市	4	2	0	6
能代市	1	0	0	1
男鹿市	1	0	0	1
計	6	2	0	8

②年齢別利用者数

(単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
20歳未満	0	0	0	0
20～29	0	0	0	0
30～39	0	0	0	0
40～49	1	0	0	1
50～59	4	0	0	4
60歳以上	1	2	0	3

計	6	2	0	8
平均年齢	55歳	67歳	0	58歳

③利用者の利用直前の生活状況 (単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
施設	3	0	0	3
自宅	2	2	0	4
病院	1	0	0	1
その他	0	0	0	0
計	6	2	0	8

④退居利用者数と退居理由 (単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
自宅	0	0	0	0
他施設	1	0	0	1
アパート	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	1	0	0	1

⑤ 障害別利用者区分 (単位：名)

区分	身体障害者						知的障害者		計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	
等級	2	3	0	0	1	0	0	2	8

(2) 短期入所

①市町村別の利用者数 (単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
秋田市	0	18	0	18
計	0	18	0	18

②年齢別利用者数 (単位：名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
20歳未満	0	0	0	0
20～29歳	0	8	0	8
30～39歳	0	4	1	5
40～49歳	0	4	0	4
50～59歳	0	1	0	1
60歳以上	0	0	0	0
計	0	18	0	18
平均年齢		34歳	31歳	34歳

⑨ 月別利用者数

(単位：名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延日数	15	14	14	21	17	10	18	13	18	34	18	28	220
実人数	3	6	5	6	5	4	5	4	5	6	4	7	60

10 職員の定期健康診断

月日	実施人員	検査項目	健診機関
6月1日	4名	胸部X線検査、尿検査、心電図、採血検査他 35歳以上	ふき健診クリニック
令和5年 1月24日	1名	生活習慣病予防検査、大腸がん検査、乳癌、子 宮がん、胃健診	秋田赤十字病院

11 避難訓練の実施状況

月日	訓練内容詳細
5月31日	地震想定避難訓練
9月17日	非常通報、初期消火、避難誘導、消火器操作
令和5年3月18日	非常通報、初期消火、避難誘導、消火器操作

12 会議・研修の実施

月日	内容	出席者
令和5年3月7日	地域生活支援拠点等会議	課長